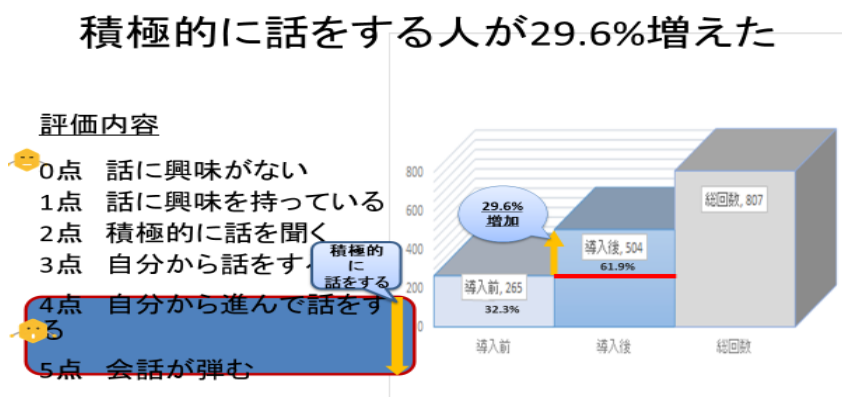
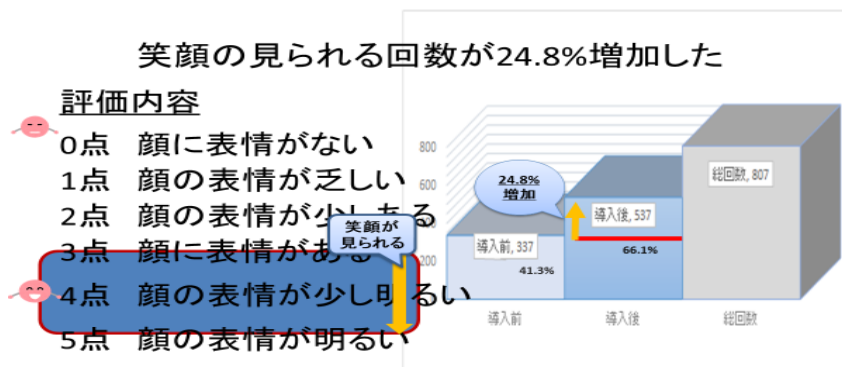


(第8報) 癒しの環境研究会、2017年(愛知県)

演題名：会話補助システム(CASA)により、高齢入所者の笑顔が24.8%、増加し、積極的に話をする人が29.6%、増えた

発表者：佐藤 愛子、松本 明子、斎藤 登紀子、小島 宏志、坂東 隆史、浅田 章

所属：すこやか生野



概略：入所者54名に、のべ807回の会話をCASA導入の前後で行った。笑顔が見られる回数が24.8%、増加した。積極的に話をする回数が29.6%、増加した。認知症を有する人との7カ月の会話を分析することにより、各個人の経時的な変化・特徴が明らかになった。